

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 奈良市立柳生小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒630-0223
奈良市柳生町138

E-mail : yagyuu-e@naracity.ed.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 23 名 女子 23 名 合計 46 名
 児童・生徒の年齢 歳～ 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

本校の校区には、徳川家の将軍指南役である柳生藩ゆかりの遺産・遺跡（一刀石、天乃石立神社、正木坂道場・芳徳禅寺・陣屋跡・家老屋敷・十兵衛杉などが）が、数多くある。

本校では、「生活科」「総合的な学習の時間」において、これらの地域遺産の教育的活用や地域人材とのふれあいを通して、人と人、人と自然とのつながりについて学んでいる。その他、全学年を通じて人権教育や食育にも取り組み、持続可能な社会の担い手の育成に取り組んでいる。

- ・地域遺産等に触れる学習や地域の方々へのインタビューなどを通して、地域の自然や環境への関心を高め、その保全への行動化を図る。

- ・地域遺産等の由来や歴史的背景について調べ、その価値を知り、郷土に誇りを持ち地域を大切に思う心を育てる。

- ・学習視野を地域遺産から、「古都奈良の文化財」や海外の世界遺産へと広げることで、海外の文化への関心を高め、グローバルな視点を育てている。

○以下は、その活動の一部である。(本校ホームページにも掲載)

- ・「ユネスコの活動やESDの視点について」

ユネスコスクールに認定されたことを契機に、全校集会でユネスコの活動やESDの視点等を全校児童対象に説明を行った。自分たちが行ってきた世界遺産学習・人権・国際理解等との関係を考え、今後学びをつなげていく意欲づけが行えた。

- ・「平和学習」

6年生では、修学旅行の事前学習として平和学習を行った。原爆ドームや平和資料館を訪問し、平和な社会の創造について考えた。学んできたことを、学習発表会で、地域や保護者に見ていただいた。

夏休みの全校登校日には、各学年で平和学習を行った。

- ・「世界遺産学習」「国際理解」

5年生では、奈良市の世界遺産学習をいかし、国立博物館、興福寺及び東大寺の見学等を行い、古都奈良の文化財に触れた。また、奈良公園に観光に来た外国の方に、インタビューを行った。学んだことを、学習発表会で地域や保護者に発表を行った。

- ・「世界遺産学習」

全学年を通じ、柳生地域の歴史学習を行った。一刀石、天乃石立神社、正木坂道場・芳徳善寺・陣屋跡・家老屋敷・十兵衛杉など、徳川家の将軍指南役である柳生藩ゆかりの遺産・遺跡を散策や取材等を行った。剣聖の里として有名な柳生の伝統的な柳生新陰流や剣道などについて掘り下げ、地域の伝統や文化について知り、これらに誇りを持ち、これらを大切に受け継いでいく素地を育てた。

・全校生「人権教育」

毎月 1 度の、全校人権集会を行い、人権意識や自己肯定感を高め合い、お互いの人権を大切にしよう、学校づくりを行った。

・全校生「食育」

毎月 1 度、全校児童、教師や給食調理員とで全校給食を行っている。食事する前に、「栄養について」、「調理や生産者や運搬している方への感謝」、「食の大切さ」等の食育教育を養護教諭中心に行った。

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他 ()